

令和4年度 第2回 犬居小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月14日（木） 14時00分から15時50分まで
- 2 開催場所 浜松市立犬居小学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 渡辺 新五、木下 俊弘、中村 裕樹、乙部 邦子、酒井まち子、山下 尚美
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 中村 功（春野協働センター所長）
- 6 学 校 品川 隆二、中村 隆紀、山崎淳子
- 7 教育委員会 堀田 洋一
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項

(1) 授業の様子、子供たちの様子について

(2) 学校への支援「家康プロジェクト事業参加について」

- ・ 児童が学校や地域のよさを深く知り、ふるさとを愛する心を育む
- ・ 学校と地域が繋がりを強め、互いを盛り上げる

- 10 会議録作成者 事務局 中村 隆紀

11 会議記録

司会から、委員総数6人全員の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 授業の様子、子供たちの様子について

委員からは、以下の発言があった。

○子供たちが全員参加している。黙って眺めているような子が1人もいないことに感動する。先生方のはつらつとした感じで犬居小学校のチームワークのよさが見える。安心して預けられる学校。6年生の話し合いがよかった。(乙部委員)

○あいさつがよい。行事(運動会)も見せてもらったが、一人一人が主役の活動をしていた。授業は発達段階に応じて先生方がよい関わりをしていた。(酒井委員)

○一人一人全員が主役だと感じる授業だった。犬居小の伝統。5、6年生の話し合いの授業では、自分たちで考え、まとめていけるよう、先生が待っていてくれていることが分かった。(山下委員)

(2) 学校への支援「家康プロジェクト事業参加について」

- ・ 児童が学校や地域のよさを深く知り、ふるさとを愛する心を育む
- ・ 学校と地域が繋がりを強め、互いを盛り上げる

事務局より家康プロジェクト事業参加について以下のような説明があった。

○本校は昨年度より「ふるさとを愛する心を育み、学校と地域の繋がりを強めていく活動」を行っている。そのひとつが、先程上映した「大河ドラマ」ならぬ「犬河ドラマ どうする天野氏」。「地域と共にある学校」を目指したこうした活動により、子供たちがふるさとに愛着をもち、大きくなってもふるさとを大事にする、帰ってくる。今年度、来年度の大河ドラマが「どうする家康」であることから、家康プロジェクトの募集があり、その目的である「地域の活性」が当てはまることから、参加することにした。活動内容は子供たちがやってきたことを継続すること。今日の話し合いのように、少しずつやり

たいことが見えてきて、活動をしていこうとしているところ。今日の熟議では、この活動についての御意見と、地域として支援できそうな活動についてご教授いただけたらと考えている。学校にとっても地域にとってもwin-winになる活動になるために熟議をお願いしたい。

委員からは、以下の発言があった。

- 「家康プロジェクト事業参加」についての熟議だが、家康のことはほとんど考えたことがない。難しい。(渡辺委員)
- 家康プロジェクトはどこが主催なのか。補助金は出るのか。コンテストのように競い合うことがあるのか。(木下委員)
- 浜松市が主催。補助金、競い合いはない。プロジェクトを通してそれぞれの地域を盛り上げる。犬居城主の天野氏について本校では学んでいる。地域との繋がりでさらに愛着をもてる。犬居のことをみんなに紹介したい。子供たちの話し合いからだけでは出ない情報を地域のみなさんから教えてもらえると有り難い。(事務局より返答)
- 地域の歴史が題材。「犬河ドラマ」は協働センターのホールや文化センター祭りで流すことができる。協力できることは協力したい。(オブザーバー中村所長)
- 犬河ドラマは何箇所かで上映するとよい。高齢者の方も喜ぶ。(乙部委員)
- 犬河ドラマを上映してふるさとを大事にする心が育っていくのか。昨年度は犬居小に来て欲しいというねらいが明確であったと思う。(乙部委員)
- 今年はまだ少しずつやりたいことが見えてきて、どう活動をしていこうかというところ。まず犬居地区のよさを伝えたいという思いをプロジェクトにどうつなげていくか。犬居の良さをもっと知って春野をもっと盛り上げたい。大人になって春野に戻ってくる。地域にとっても活性化になる。犬居はいいところ、住みたいところ。天野氏を誇りとしている。春野に誇りを持つためのプロジェクト。昨年の6年生と考え方は変わらない。犬居小存続させたい。昨年度の卒業生が作った「住もうよ、春野！」のちらしを会合のときに配付している。協働センター、文化センターにも置いてもらえるか。(事務局より返答)
- ちらしが全戸にあるとよい。(酒井委員)
- NHKの宣伝に取り上げてもらえればうれしい。(乙部委員)
- プロモーション課に声を掛けることはできる。(オブザーバー中村所長)
- 新聞社にも言ったらどうか。(乙部委員)
- 静岡新聞社、中日新聞社とも、8月から記事の依頼をしたが…。(事務局より返答)
- 何度もしたほうがよい。新聞屋さんにも。(渡辺委員)
- 子供たちが天野氏のことを学ぶことは郷土愛につながる。先生の郷土の歴史の話をする子供も興味を持っているようだ。子供が大きくなったとき、春野をなんとかしなきゃと思うようになると思う。春野に戻りたいと考える。(山下委員)
- 学校から依頼を出してくれれば何でも協力する。(中村委員)
- 犬河ドラマのパネルを作って、郵便局や農協、伊沢屋に置いてもらうのはどうか。(山下委員)

(3) その他

- ・教育総務課より  
次回行われる自己評価の観点について話があった。
- ・次回の予定  
次回会議は、令和5年2月6日（月）午後から開催する旨の報告があった。
- ・学校行事の予定について  
校外学習日や修学旅行、参観会・懇談会、卒業式について日程が伝えられた。

以上、この会議録が正確であることを証します。

令和4年10月18日

副会長 中村 裕樹